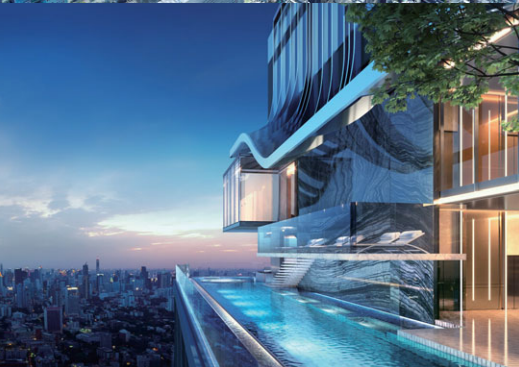


まだ見ぬ、 Life & Time Developer ^



目次



イントロダクション Introduction

- 2 野村不動産グループの歴史
- 4 野村不動産グループの概要

目指す姿

- 6 CEOメッセージ
- 12 野村不動産グループが目指す姿

積み上げてきた強みと根幹

- 14 価値創造プロセス
- 16 野村不動産グループの競争優位性
- 21 外部評価

取り組む課題と戦略

- 22 COOメッセージ
- 28 CFOインタビュー
- 34 中長期経営計画
 - 34 中長期経営計画(2023/3~2031/3月期)の概要
 - 36 DX戦略
 - 38 人材戦略
- 40 サステナビリティ戦略
 - 40 サステナビリティ戦略(気候変動と自然環境)
 - 42 脱炭素へのロードマップ
 - 46 サステナビリティ戦略(社会と社員)
- 48 部門別戦略
 - 48 住宅部門
 - 50 都市開発部門
 - 52 海外部門
 - 54 資産運用部門
 - 56 仲介・CRE部門
 - 58 運営管理部門
- 60 特集:市街地再開発や公的不動産の有効活用などを通じた社会課題の解決

活動を支える基盤

- 62 社外取締役鼎談
- 65 取締役会議長メッセージ/社外取締役就任のごあいさつ
- 66 コーポレートガバナンス
- 74 役員報酬
- 76 リスクマネジメント
- 80 内部統制・コンプライアンス/情報開示
- 82 役員一覧

データ等

- 84 主なアセットブランド
- 88 主な開発案件
- 90 財務11カ年データ
- 92 部門別データ
- 94 ESGデータ
- 96 グループ会社一覧
- 97 外部評価一覧
- 98 会社情報

To be

Strengths

Actions

Base

Data

統合レポート2023の構成

野村不動産グループは、
グループ企業理念「あしたを、つなぐ」の実現に向け、
野村不動産グループ2030年ビジョン、サステナビリティポリシーを掲げ、
事業とサステナビリティを一体としながら
持続的な成長に向けて取り組んでいます。
統合レポート2023では、

「イントロダクション(Introduction)」

「目指す姿(To be)」

「積み上げてきた強みと根幹(Strengths)」

「取り組む課題と戦略(Actions)」

「活動を支える基盤(Base)」

「データ等(Data)」

に区分けし、当社の企業価値向上に向けた取り組み等を
わかりやすくお伝えする構成としています。

編集方針

本レポートは、当社グループの中長期的な価値創造(社会的価値・経済的価値)の実現に向けた考え方や戦略、具体的施策について、外部環境を踏まえながら、財務情報と非財務情報を関連付けてご説明することで、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに当社グループをご理解いただき、対話を深めるツールとなることを目指しています。

今回は、当社グループがこれまでに積み上げてきた強みや根幹、中長期経営計画で掲げる高い利益成長と高い資産・資本効率の実現に向けた戦略とその進捗、目指す姿をお示しすることにより、当社グループが取り組む価値創造の確からしさをお伝えできるように努めました。

編集にあたっては、The IFRS Foundation(IFRS財団)「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」などに加え、投資家の皆さまとの対話の中でいただいたご意見やご要望を参考にしています。

■ 参考としたガイドライン

- ・ GRI(Global Reporting Initiative)「GRIスタンダード」
- ・ ISO26000「社会的責任に関する手引き」
- ・ IFRS財団(The IFRS Foundation)「国際統合報告フレームワーク」
- ・ 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」

■ 報告対象期間

2023年3月期(2022年4月～2023年3月)

一部内容に、当該期間以前または以後の活動と見直しも記載しています。

■ 報告対象範囲

野村不動産ホールディングスおよび野村不動産グループ企業

■ 見直しに関する注意事項

本レポートには、野村不動産グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見直しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。

また、経済動向、不動産業界における競争の激化、法規制や税制、諸制度などに関わるリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性があります。